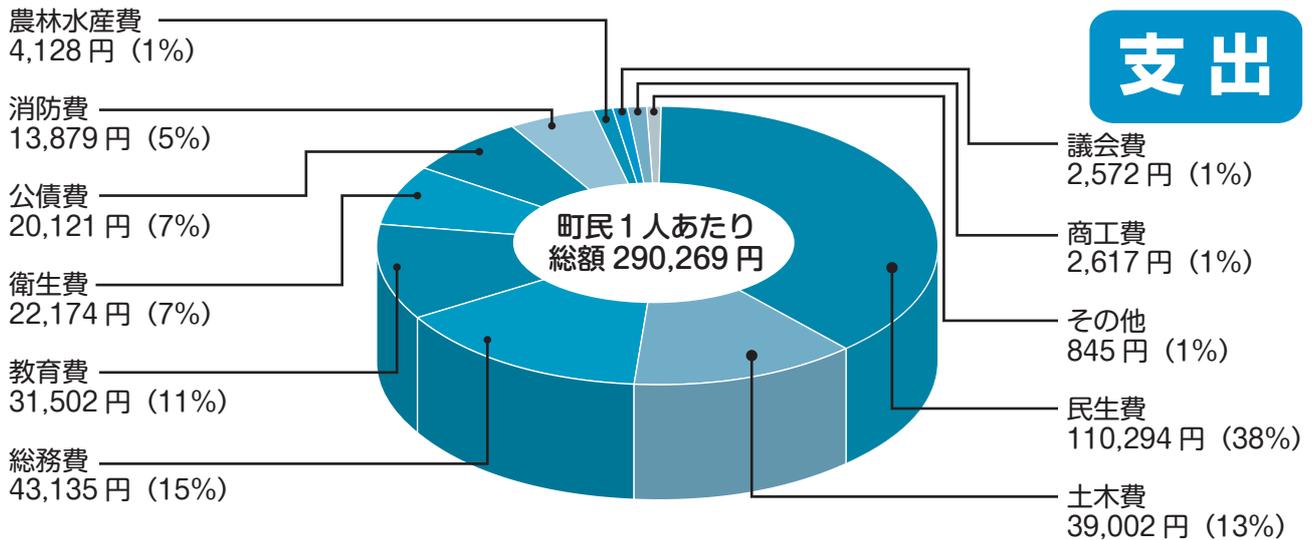


総合事業スタート!!

支出



※町民1人あたりの一般会計支出内訳

Q 配置の体制および予算内訳は。

「コンパクトなまちづくり推進事業」ワーカー配置事業

A 東浦駅東整備計画の策定支援業務に対する委員会の運営や資料作成等の業務委託料である。

Q 整備方針検討委員会の運営委託料150万円の用途は。

A コンパクトなまちづくり計画に位置つけた東浦駅を中心としたエリアで、都市計画道路藤江線とともに一帯の土地利用を検討している。

「コンパクトなまちづくり推進事業」生活支援コーディネーターと兼務とし、高齢者相談支援センターに2人配置する。

A 予算は、1人あたり人件費600万円、事務費90万円で690万円となり、2人分で1380万円である。

第6次東浦町総合計画

Q 策定のために調査・審議を行う「まちづくり計画委員会」の構成員60人の選定方法は。

A 各種団体の役員、公募委員、さらに無作為に抽出した人に郵送で依頼し、委員に入ってもらったことを考えている。

3月定例会は、3月2日から21日までの会期で開かれ、10人が一般質問を行った。

議案は、一般会計予算のほか、4つの特別会計予算と水道事業会計予算など14件。その他、報告3件、同意1件、意見書1件を、慎重に審議した。

正規職員の採用

Q 人数不足はあるのか。

A 28年度は採用試験を4回実施した。事務職、技術職は確保しているが、保育士は7人不足している。

学生ボランティア事業

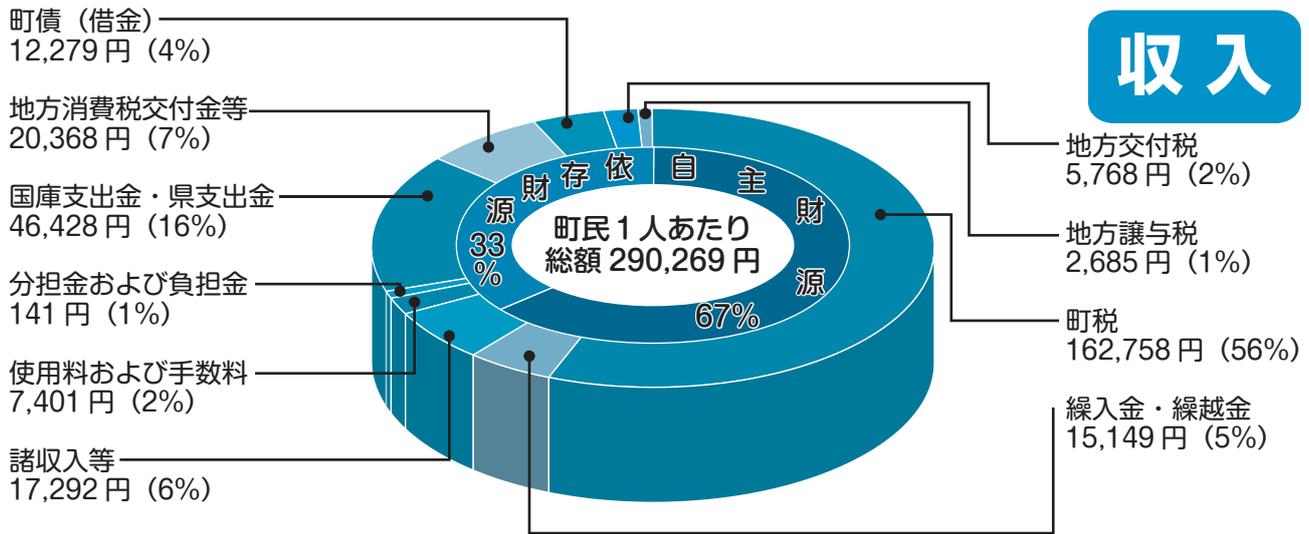
Q 学生ボランティア事業の運営費の内訳は。

A ボランティアに来た際、1回千円の図書カードを渡し、年間1140回分、114万円等である。



29年度予算 一般会計 145億9300万円

介護予防・日常生活支援



※町民1人あたりの一般会計収入内訳

バス運行負担金

Q 緒川小学校のバス通学者の乗りこぼし対策は。

A バス通学負担金35万7千8百円の予算を組み替え、タクシー借り上げ(1時間)を予定し、150万円弱の契約となる。

特別旅費(町長海外視察)

Q 特別旅費の内訳は。

A 名城大学に同行し、「住民参加・情報公開・コンパクトシティ・交通政策」の先進地、アメリカのポートランドに研究、研修を兼ねて行く。

特別旅費は262万2千円で、そのうち、約13万円が、神谷町長、随行職員2人分(7日間)である。

大学連携創生事業

Q 大学連携創生事業費補助金とは。

A まち・ひと・しごと総合戦略で学生側からの政策提案制度である。

県外・町外から、学生等に東浦町へ来てもらい、地方創生に絡む提案をもらう。上限1万円で旅費・宿泊費の2分の1の補助である。

フレイルチェック事業

Q フレイルチェック事業の対象者は何人くらいなのか。

A 28年10月現在で、後期高齢者人口が5619人、そのうち介護認定者は、1693人であり、残り約4千人が対象になる。

Q 国立長寿医療研究センターと協定を締結するが、その内容は。

A 要介護状態等への移行をどの程度防止できたか等の事業の成果に係る評価に関することなどである。

景観まちづくり

Q 景観まちづくり委員会支援業務委託料の内容は。

A 現在、明徳寺川周辺地区の景観まちづくりを進めており、景観形成基準等に対する会議の運営費用である。

また、他地区では、有感プロジェクトを推進して取り組んでいきたい。

衣浦臨海鉄道

耐震補強工事

Q 衣浦臨海鉄道耐震補強工事は、いつ頃行われるか。

A 28年度から32年度にかけて行われ、東浦町は29年度に工事が行われる。